

品質性能試験報告書



一般財団法人 建材試験センター
中央試験所長 西脇 清晴
埼玉県草加市稲荷 5 丁目 21 番 20 号



試験名称	床合板を介した筋かい入り木造軸組耐力壁（片筋かい）の面内せん断試験	
依頼者	名称：株式会社 栗山百造 所在地：新潟県三条市井戸場 84-9	
試験体 (依頼者 提出資料)	試験体記号	主な構成材の寸法及び材質 (mm)
	K-4G30	<p>1. 接合金物 名称：木造建築用筋かい金物 商品名：2倍コンパクトボックス（床合板30mm対応）K-4 G30 用途：筋かい（45mm以上×90mm以上の木材）端部と軸組との留め付け部に使用する金物 取付位置：柱、梁及び床合板に接する位置の壁体内 取付方法：筋かい金物の外側に筋かいを設置して緊結 寸法：120×120×35、板厚2.3</p> <p>2. 接合具 木ねじ：クリ皿ビス、径5.5×45、筋かい側各6本、柱側各4本、梁側4本 クリ平頭ビス、径5.3×75、床合板側4本</p> <p>3. 使用軸組 梁：樹種；すぎ、寸法；105×180 土台及び柱：樹種；すぎ、寸法；105×105 間柱：樹種；すぎ、寸法；30×105 筋かい：樹種；べいつが、寸法；45×90 床合板：材質；構造用合板（JAS特類2級）、寸法；厚さ30</p> <p>4. 試験体数 3体</p>
	参 照：図1及び図2（試験体）	
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2017年版）（企画発行：公益財団法人日本住宅・木材技術センター）の4章「試験方法と評価方法」に準じて行った。詳細を表1に示す。	
試験結果	<p>1mあたりの基準せん断耐力：3.52 kN</p> <p>終局変形角 γ_u の平均値：1/18 rad</p>	<p>参 照：表2～表4（耐力算定のための基礎資料） 図3（包絡線及び完全弾塑性モデル） 図4（各曲線の比較） 写真1～写真6（破壊状況）</p>
備考	当該試験結果から、上記接合金物を使用した筋かい入り木造軸組耐力壁は、1mあたりの基準せん断耐力2.94kN以上（筋かい断面45mm×90mm）、終局変形角 γ_u 1/30rad以上であることが明らかとなったため、 平成12年告示第1460号の一の二に定める接合方法の性能を満足する。	
試験期間	2025年10月20日及び21日	
担当者	構造グループ 統括リーダー 上山 耕平 庄司 秀雄 直井 聡人（主担当）	
試験場所	株式会社 栗山百造（新潟県三条市井戸場 84-9）	

試験所長の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部分のみを複製してはならない。